

「チコちゃん」がまだサルだったころの話

Greatchain

2019/05/24

「チコちゃん」がまだサルだったころ、新聞社や放送局は、ものを決まった正しさで考え、教えるように指導されていた。それは「政治的正しさ」(ポリティカル・コレクトネス)という不思議な言葉で呼ばれる正しさであり、科学的正しさではなかった。なぜ不思議かという、それを命令する人たちの顔がはっきりとは見えなかったからである。それは不気味な要求だった。しかしそれは厳しい掟であり、それを守らなければ商売をさせてもらえなかった。私たちは生活の多くを、新聞・放送に頼って暮らしている。——そう言うただけでも、私たちがどんな世界に住んでいたかがわかるであろう。

その「正しい」考え方とは、大きく言えば、私たち自身を含めて、私たちの住んでいるこの宇宙の根源(何から生じたか)を考えると、物質やモノの力だけで物的に考えなければならない、という厳しい掟であった。これを唯物論と一般には言っている。この思想は、そう考えることができる、というだけでなく、そう考えなければならないとして、命令として与えられるのがその特徴である。これは一般の人々だけでなく、学問の世界でも普通はそうなっているから、学術論文でさえ、「我々は宇宙のゴミとして存在する」などと、真面目に言っている人があるほどだ。モノから自然発生したものには、当然、意味も価値もなく、したがって私たちはゴミでしかない。唯物論によればそれが正しいことになる。

意味や価値だけでなく、生命や意識まで、モノから発生したとそれは教える。そして強制する。強制などされていないと抗弁する人も、長年、叩き込まれたそのような考え方から、脱却できないでいることが多い。

そこでいっそ、意味や価値、生命や意識といったものが、まず初めにあったと考えることを提案したい。そう言うとき多く人は、「とんでもない」と言うだろう。そんな考え方は、宗教とか哲学とかいう馬鹿げたものが、宣伝するだけの、根拠のないものではないか？ 聖書にある「初めに言葉(ロゴス、理法、思考)があった」などとい考え方は、馬鹿げて理屈に合わないものだ。プラトンの「イデア」などもそうではないか？

確かに馬鹿げている——ただし、それは唯物論という、偏狭な前提しか認めない、凝り固ま

った人にとって、馬鹿げているだけである。そのような根本的な前提の切り替えを想像もできない人とは、どういう人だろうか？——自分を偽っていないとしたら。たとえばID理論は、「インテリジェンス」の働きを想定しなければ、生命体は説明できないことを、論理的に証明する。これを拒否し、仮説としてさえ認めない人々の頭とは、よほど粗雑なものであろう。ところが唯物論者の主流連合はそういう者たちだった。インテリジェント・デザイン論者を、学界追放する者たちも、そういう者たちだった。彼らは膨大な文献を読んでみようとせず、読まないことを推奨した。それに新聞社や放送局も加担することになった。なぜか？ なぜこの者たちは、良心の呵責を押し殺してそういうことをするのか？ 本当の理由を言ってみよ。本当の理由があるはずだ。この問題は、イラン攻撃とも、ロシア攻撃とも、テロとも、ペドフィリアともすべて繋がっている。

（余談だが、科学を含め、すべてのものの考え方は、何らかの前提の上に、すなわち哲学の上に成り立っているのだから、「哲学は、現代科学、特に物理学に歩調を合わせることができなくなった」などという *Grand Design* の言葉は、馬鹿げている。これを含め、このスティーヴン・ホーキングの徹底した唯物論の宣伝本（共著）は、あまりにも記述が愚かしく、私はこれを、魂胆をもった偽書だと思っている。これについては別に述べた。）

アメリカでは統計によれば、宇宙や人間の歴史について、何らかの超自然の知恵が働いていると考える人々が多数派で、徹底的な唯物論者は少数だと思われる。スピリチュアルと言われる運動がますます盛んになって、宇宙には、人間の頭脳以外に、考えるものが存在すると考えるのが普通になり、素朴唯物論などはほとんど見られなくなっているのに、これにあえて異を唱える大人のグループはあってもよいが、これによって子供を、サブリミナル効果のように教育することは、許すことができない。なぜならそれは、文字通り、かつ誰かの注文通り、**愚民教育**である。私たちは、こういう公共宣伝に対して自衛しなければならない。ニュースばかりではない。そして現今の操作されたニュースと、この根源的哲学あるいは宗教の操作は、別々の問題ではない。それらは深いところで繋がっており、今、私たちの世界では**人間操作が進行している**と考えねばならない。

宗教というものは、その高いレベルでは、かつて私たちが考えたような「アヘン」ではなくなった。しかし底辺では昔と変わっていない。最近、私は、ある特定の宗教を布教しようとする人々と面談し、「今は布教する時代ではない、現在宗教は2つしかないからだ——サタン教と神教だ」と言った。状況が切羽詰まっていることを、誇張して言えばそうなる。150年前の、粘土細工を説明するような進化論や、素朴唯物論を、その後、世界で何も起こっていないかのように、電波を「アヘン」のように使って子供たちに説教するのは、サタン教に属しているか、それに忠誠を尽くしている者のやることである。

